

## (1) 保存地区の概要

地区名 柳井市古市金屋

種別 商家町

面積 約1.7ヘクタール

選定年月日 昭和59年12月10日



特徴

本町通りに面してたつ町家は妻入、本瓦葺、二階建てで、漆喰壁の大壁造を基本とする。中に平入りのものが混じるが、前面の庇の軒線はそろい、町並みに統一感をあたえ、また2階壁面に開く窓は、建ちの高い建物の正面の意匠を調和よいものにし、漆喰壁の白壁に深い陰影をつけ、大壁造の重厚な町家をひきたたせている。

明治以後、この地域は柳井津の中心街として栄え、商業活動が盛んであった。この時期に1階部分は改造を受けたものも少なくないが、もとは國森家住宅のように全面はブチョウ(風聴)の構えで、全体が開放できる形式が多かった。



## (2) 保存地区のあゆみ

昭和50年(1975) 保存調査協議会発足

昭和51年(1976) 保存調査報告書の発行

昭和54年(1979) 柳井市白壁の町並みを守る会発足

昭和57年(1982) 保存条例案説明会の開催

昭和58年(1983) 各戸訪問説明会

昭和59年(1984)

保存条例公布

保存審議会の開催

都市計画審議会の開催

重要伝統的建造物群保存地区の選定



### (3) 保存地区の保存及び整備

古市金屋線道路改良・電柱地中化事業(H2~H7)

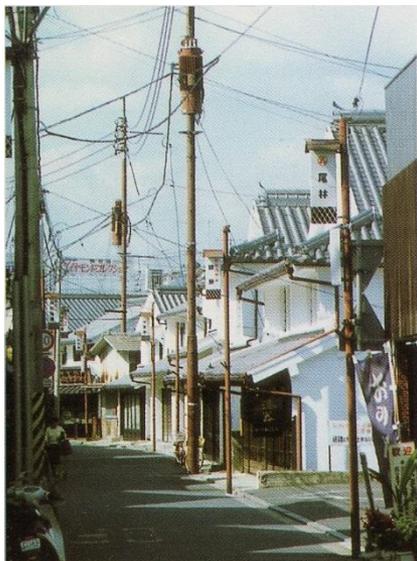
- ・まちかど広場の整備
- ・白壁通りの整備
- ・道路改良事業
- ・電線地中化事業
- 修理事業
- ・平成27年度 1件
- ・平成28年度 2件
- ・平成29年度 1件



整備前



整備後



整備前



整備後

### (4) 保存地区の活用とまちづくり

- ・町並み保存活動と一体となった継続的な町づくり活動
- ・町並み保存とより良い生活環境づくりの推進
- ・民芸品金魚ちょうちんによる白壁の町並み(保存地区)の装飾
- ・外国人観光客に対応した環境整備
- ・保存地区周辺の観光施設と連携し一体となった観光客の誘致
- ・官民一体となった町並み活用イベントの開催
- ・空き店舗活用事業による空き家の解消

### (5) 住民等の取り組み

#### 柳井市白壁の町並みを守る会

- ・設立 昭和54年
- ・会員 約50名
- ・目的 郷土の町並み保存とより良い生活環境づくりにより、柳井市の発展を図る。
- ・事業 調査研究及び先進地の視察  
情報交換  
宣伝活動  
市との折衝  
親睦行事  
観光開発事業  
その他必要な事業

- ・ 活動内容 町並みかわら版の発行(年4回)  
柳井市町並み資料館管理業務
- 4月 先進地視察研修
- 5月 松島歌子の名曲を歌う会
- 6月 総会
- 7月 七夕祭り
- 8月 金魚ちょうちん祭り協賛  
八朔舟流し
- 12月 年末夜回り
- 2月  
～ お雛様巡り・花香遊  
3月

